

「広報いせ」特集記事制作プロジェクト

メンバー数：12名 活動場所：伊勢市
実施主体：伊勢市情報戦略局広報広聴課
担当教員：池山 敦（教育開発センター）
活動年度：H30, R1

- ・新体制で楽しく活動を始める
- ・広報いせ2月号発行
- ・新体制での初ミーティング
- ・1年生に向けてプレゼンテーション
- ・伊勢市くらしの便利帳発行
- ・広報いせ12月号発行
- ・記者発表
- ・広報いせ2月号に向けての取材・撮影
- ・広報いせ12月号に向けての取材・撮影
- ・学生×8市町連携合同特集記事に向けてのミーティング
- ・伊勢市くらしの便利帳一部記事作成ミーティング
- ・現メンバー、新メンバー、8市町の各広報課での顔合わせ&ミーティング
- ・1年生の保護者の皆さんに向けてプレゼンテーション
- ・広報いせ4月号発行
- ・伊勢市長と記者発表

2019

4 5 6 7 8 9 10 12 1 2 3

◆今年度の活動を振り返って(成果と課題)

2019年4月にこのプロジェクトで初めての広報いせが発行され、**伊勢市長と記者発表**をさせていただいたり、新たに**1年生(次年度2年生)**が沢山このプロジェクトに参加していただいたりして、素敵な経験ができました。そうして、メンバーが全員で**10人**になりました。そのおかげで**取材や撮影が、短期間で**より多くの場所へ行き、実施することができました。

去年の5月には、**1年生の保護者の皆さん**に向けたこの活動の報告を行いました。

さらに昨年**12月号**では**学生と県内の8市町が連携**してミーティングを行い、広報紙を発行しました。このことが話題になり、各報道機関の方々に向けた制作発表を行いました。

その同じ時期に今年**2月号**の取材や撮影を同時進行で行いました。

さらに**6年ぶり**にリニューアルされた「**伊勢市くらしの便利帳**」での一部記事を作成させていただき、そのなかでこの活動を紹介されました。

そして今年**1月**には全学部の**1年生**が必修で受けている「伊勢志摩定住自立圏」でこの活動についてを知ってもらうべく、プレゼンを行いました。

その結果、新たに**1年生(次年度2年生)**が**2人(3人も知れないです)**参加していただいたのでこれからの活動では、**より広い範囲での活動ができるのではない**かと思いました。

新たにこれからの活動についてのミーティングも始まり、**新体制でのこのプロジェクトがどうなるのかが大変楽しみです。**

特にアピールしたいポイント

✓ どなたでも参加できる場所

伊勢市出身や伊勢に住んでいる学生だけではなくです。

✓ 気軽に参加することができる場所

ミーティングや活動の行事に参加できない日があっても大丈夫です。



実施主体様の声

皆さんとても真面目に一人一人がこのプロジェクトの推進のために時間を充て、取り組んでくれています。今後も大学生を含む若者の目線を取り入れた内容を掲載することで、「**ちょっとおもしろそうやから読んでみよう**」と感じてもらい、今後継続的に読んでもらうきっかけを与えられる表紙・特集記事の制作を**一緒に取り組んでいきましょう!**

